

赤坂新町五丁目町会

防災活動報告（43）

令和3年11月
赤坂防災ネットワーク
赤坂小ブロック長 山下

1) 令和3年10月20日（水） 赤坂小ブロック：備蓄倉庫点検

参加者： ブロック役員（山本・宇都宮・山下）、
協働推進課（甲斐・加勢）（敬称略）

備蓄倉庫：

*平成31年在庫リストと見比べる：リスト通りあり

*2年前追加搬入：冷風機・大型送風機（熱中症予防）

*令和2年追加：新型コロナ対策物資：ブルーガウン（10枚x5）、防護服セット（ゴーグル等）、
パーテーション（2個、受付用）ファイアガード、清掃セット

奥倉庫：アルファ一米等 有効期限切れ入れ替え

注意： 発電機は作動訓練必要



2) 令和3年11月7日（日） 赤坂青山地域防災協議会 合同避難所立上げ訓練報告

青山小学校、午前9時00分～12時00分頃

参加団体： 赤坂防災ネットワーク（4ブロック）、青山防災協議会（3ブロック）

赤坂総合支所協働推進課 赤坂消防署など、赤小ブロック（山下以下5名）

目的： 新型コロナウイルス等感染症対策を施した避難所立上げと避難者受入訓練

訓練内容：

(1) 講話：「防災士の活動」（森一 防災士）

(2) 実働訓練：感染対策を踏まえた避難者受付設置（一般避難者口と発熱者・在宅避難者用窓口）
一般避難者受入訓練（振り分けと健康状態確認、居住スペースへの誘導）



隔離用テント設置

避難所は自宅が被災して住めない方の生活の場です。自宅が住める状態であれば、原則、自宅で生活をおくります。そのため、地震に備える自助の取り組みとして、各家庭での家具転倒防止や災害食糧の備蓄（3～7日分目安）につとめましょう。また、共助の取り組みとして、いざというときに助け合えるよう、日頃から地域の絆を深めておきましょう